

令和4年度宇治市の家計簿

普通会計の歳入・歳出決算額を1/10,000にして、
一般家庭に例えると・・・

前年度からの
増減

具体的には・・・

○収入

給与などの収入	581 万円	(-17 万円)	市税、譲与税、交付金、使用料など
親からの仕送り	94 万円	(+3 万円)	地方交付税
ローン（家・車の購入のため）	13 万円	(+2 万円)	道路・河川の整備、学校改修などの資金
ローン（生活資金のため）	8 万円	(-5 万円)	臨時財政対策債
預貯金の引き出し	3 万円	(+1 万円)	基金繰入金
繰越金	11 万円	(+2 万円)	繰越金



収入合計 710 万円 (-14 万円)

令和4年度の家計は・・・

昨年度と比べて、給与やローンの収入は減りましたが、親からの仕送りが増えたことやローンの返済が減ったことなどにより、家・車の購入に昨年度以上に支出したにもかかわらず、収入合計と支出合計の差し引きは昨年度より増えました。

今後も生活費は増えることが見込まれているほか、家・車についても老朽化が進んでおり、修繕や改修などに伴う支出も増える見込みです。

このように、厳しい状況が続くことが見込まれていることから、生活費の抑制はもちろんのこと、その他の支出についても無駄がないか徹底的に見直し、ローンの借入れに無理がないのか、預貯金の残高にも気を配りながら、家計の安定に向けて、引き続き努力や工夫が必要です。

なお、ローン残高は、ローンの借入れを抑えることで減少し、預貯金の積み立ても行えたことから、預貯金残高は、前年度より増加しました。今後も将来の支出に備えて、預貯金の積み立てを行っていくことが必要です。

前年度からの
増減

具体的には・・・

○支出

生活費など	315 万円	(+2 万円)	人件費、扶助費、維持補修費など
子どもの教育費など	172 万円	(-20 万円)	教育費、民生費のうち児童福祉費
保険料・下水道費用	90 万円	(+9 万円)	国保特会、公共下水道事業などへの繰出金
家・車の購入	46 万円	(+13 万円)	道路・河川の整備、学校改修費用など
貸付金など	20 万円	(-3 万円)	貸し付け事業の費用（年度末には返金）
預貯金の積み立て	7 万円	(-11 万円)	基金への積立金



ローンの返済 46 万円 (-7 万円) 公債費

支出合計 696 万円 (-17 万円)

差し引き 14 万円 (+3 万円)

ローン残高 390 万円 (-24 万円) 年度末の市債残高

預貯金残高 115 万円 (+4 万円) 年度末の基金残高

(市民一人あたりローン及び預貯金残高の推移) (単位：円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ローン残高	238,784	225,345	214,155
預貯金残高	51,373	60,472	63,338

